

ご挨拶

台風の影響により線状降水帯が発生し、太平洋側の広い範囲で被害が出ました。辟雍会会員の皆様やご関係者で、被害を受けられた方はいらっしゃらなかったでしょうか。被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

コロナ禍の3年間対面式での集会を自粛してきましたが、新型コロナ感染症が5類に分類され、5月の大型連休後も大き

な感染拡大がみられませんでしたので、やっと対面式の理事会を開催することができました。

5月20日には、東京学芸大学創基150周年記念行事の一環としてWBC侍ジャパンの栗山英樹監督の講演会が開催されました。

今号では、理事会と講演会を中心にご紹介いたします。

(辟雍会会長 長谷川 正)



第21回辟雍会理事会開催

この3年間メール会議として開催してきました理事会を、5月27日にやっと対面式で開催することができました。理事会構成員24名中、青森県・栃木県・神奈川県・静岡県・近畿・高知県・大分県支部からの理事を含む21名が出席し、委任状提出者が2名で定足数が確保されました。会議は順調に進みましたが、議事(9)につきましてはご意見があり会議時間の関係で継続審議としました。それ以外の議案は承認されました。議事(7)は、今までの近畿支部としての括りでは範囲が広すぎ支部の集まりも持ち難いため、近畿支部を発展的に解消し、兵庫県支部を設置するというもので、現在、京都支部設立に向けた活動もされています。理事会関連記事が本会ホームページ (<https://www.hekiyou.com>) にも掲載されていますので、そちらもご覧ください。

本会は今年、創立20周年を迎えていますので、記念式典を



WBC侍ジャパン栗山監督講演会と栄誉教授授与式

大学創基150周年記念行事の一環として、WBC優勝監督の栗山英樹監督の講演会が開催されました。講演会に先立ち、WBC優勝を称え栗山監督へ栄誉教授の称号が授与されました。

栗山監督は、本学初等教員養成課程保健体育選修を卒業後、ヤクルトスワローズで活躍され、日本ハムファイターズの監督にもなられました。

WBC優勝の瞬間の大谷投手とトラウト選手との対決等、侍ジャパンの選手の大活躍に感動された方も多く

いらっしゃり、このWBCを契機に野球ファンになられた方も多いのではないのでしょうか。監督の仕事は「決める係・一番嫌なことをする係」と話され、選手とは真正面から熱意を



栄誉教授授与式 (大学HPより)
栗山監督(右)と國分学長

開催したく考えています。人と人との交流を大切にしている本会では、式典を会員相互の情報交換と懇親を深める場とすべく、事業部を中心に検討を始めています。コロナ禍の終息具合も勘案し、式典開催に関しまして決まり次第、皆様にお知らせいたします。

第21回 東京学芸大学辟雍会理事会日程	
日時	2023年5月27日(土) 14:00~15:30
場所	東京学芸大学第1会議室(本部棟3階)
1	開会の挨拶
2	顧問挨拶
3	議事
	(1) 2022年度 東京学芸大学辟雍会事業報告(案)について
	(2) 東京学芸大学辟雍会費納入者数一覧について
	(3) 2022年度 収支決算書(案)について
	(4) 2022年度 会計監査について
	(5) 2023年度 東京学芸大学辟雍会事業計画(案)について
	(6) 2023年度 収支予算書(案)について
	(7) 支部の設置について
	(8) 理事の変更について
	(9) 東京学芸大学辟雍会会則の一部改正(案)について
	(10) 会長候補者推薦委員会委員の選出について
	(11) その他
4	報告事項
	(1) 東京学芸大学辟雍会修学支援金貸与に関する要項の一部改正について
	(2) 全国代表者の開催について
	(3) その他
5	閉会の挨拶

もって話されたとのことで、講演会を通して栗山監督の魅力を改めて感じる講演内容でした。本会および大学ホームページに関連記事がありますので、是非ご覧ください。

